

おおくま

福島県大熊町
議会だより

2024 No.70
令和6年
8月1日発行

題 字：福尾 絹子さん（野上）



笑顔もビッグ!!お弁当レース（学び舎ゆめの森・スポーツフェスティバル）

6月
定例会

補正予算の概要 ②

町政を問う 一般質問 ④

個性を伸ばすゆめの森 ⑦

新コミュニティ うっちゃこ!
ucchaco! ⑧



スマートフォン
でも見られます

29議案を議決

定例会のあらまし

令和6年第2回定例会は6月5日から7日までの3日間で開催されました。

第1日目に町長より専決処分条例改正、工事請負契約および変更、備品購入、人事案件、令和6年度一般会計補正予算など29議案が提出されました。

第2日目は2名が一般質問を行い、復興の課題や新たな町づくりの提案などを取り上げ、町民第一主義の様々な角度から熱く町政をただしました。

最終日の本会議では令和6年度一般会計補正予算など、全議案とも原案通り可決し閉会しました。

なお、今回の傍聴者は延べ12人でした。

新たに非課税となる世帯に 緊急支援給付金を支給

価格高騰緊急 支援給付金

1億
2437
万円

新たに非課税等となる世帯、定額減税算定後減税しきれないと見込まれる方の差額について給付するものです。

一般会計補正予算

歳入補正の主なものとしては、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、特定原子力施設交付金（維持補修）基金繰入金などが計上されました。

また、歳出補正の主なものとしては、インキュベーションセンター改築工事費、価格高騰緊急支援給付金事業委託料、価格高騰緊急支援給付金などが計上されました。

インキュベーションセンター施設内改修工事



1573
万円

施設内での雨漏り原因の修繕計画を立案し修繕するものです。

価格高騰緊急 支援給付金事業委託料

1475
万円

給付に係る業務委託料です。主にコールセンター運営や給付費審査業務になります。



(万円未満四捨五入)

給付金対象世帯に 9月ごろ確認書が届く

第2回定例会にて令和6年度一般会計補正予算の審査を行いました。その中から主な質疑内容を報告します。

価格高騰緊急支援 給付金

問 給付対象世帯への連絡はいつになるのか。

答 令和6年度の住民税が確定した後、9月頃に対象世帯に給付内容や確認書を届ける。

定額減税

問 どのような方法で減税するのか。

答 主に勤務先の給与や公的年金等の源泉徴収の際に減税される。

問 定額減税で減額しきれない場合の給付方法は考えているのか。

答 住民税の減税額確定後に給付額を算定し今年度秋以降に補足給付金として給付する。

インキュベーション センター

問 当初雨漏りの報告があつて経過観察を判断したとのことだが、

その際に職員は現場立ち合いをし確認しているのか。

答 雨漏りの報告を受けた際、職員は現場確認している。確認の結果、台風等の横風が吹き付けての事象であり通常の雨では雨漏りは確認されなかったことから経過観察と判断した。

今回の改修工事は、その後の地震等により亀裂が広がり通常でも雨漏りが確認されるようになったことから実施する。

農業委員12名に同意

同意された委員名

(敬称略)

	氏名	地区名	現新		氏名	地区名	現新
1	武内 豊	下野上	新	7	高野 純一	下野上	新
2	植杉 富夫	下野上	新	8	木田 重森	野上	新
3	根本 友子	小入野	現	9	小田 貴浩	下野上	新
4	鎌田 恭行	熊川	新	10	尾内 八ツ子	夫沢	現
5	中島 幸広	下野上	新	11	吉田 幸治	下野上	現
6	佐藤 敏	熊	新	12	前田 克浩	下野上	現

農業委員会委員は議会の同意を得て任命されます。新たな農業委員を報告します。任期は3年です。

木幡ますみ 議員



町政を問う 復興への課題をとらえて

問 室内プールと遊び場を造るべき

答 多目的グラウンドを先行的に整備する



全天候型のプールが欲しいなあ

木幡 町内は復興途中のため砂ぼこりが酷い。さらに黄砂の影響もあり、子ども達が安心して泳ぐことが出来る室内プールは必須と考える。

また、高齢者の方々が利用することで健康増進、腰痛症改善の一

助にもなる。

さらには子ども達が安心して遊ぶことが出来る遊び場があれば、近隣自治体からも年齢に関係無く多くの集客が望めるのではないかと

また、屋根が無い今まで通りのプールや遊び場では集客は望めない。

全ての町民が元気で

喜ぶことが出来る町に向けて、室内プールそして室内遊び場を造るべきではないかと

町長の考えを伺う。

町長 第二次復興計画においては町民の皆様

の健康を増進させ、また様々な交流の機会を

持てるよう、総合運動施設を原地区および旭台地区に整備する予定となつている。町民の

皆様の意見を聞きながら

多目的グラウンドを先行的に整備する。近

隣町村に室内プールが

整備され、学校においては今のところ富岡町の学校の室内プールをお借りして授業を行つており、支障はないと

連絡を受けている。そのため早くプールを整備する考えはない。

問 震災以前の立木伐採も国に要望すべき

答 環境省に申し入れを続けていく

木幡 除染の時に庭の立木は伐採出来ないため、立木周辺の放射線量は更地よりも高くなつている。

除染は放射線量を低くするため行われており、除染は国の責任である。除染終了後に町民自身が専門家にお金

を支払って庭の立木を伐採してもらうしかない。

震災以前から成長し続けている立木については

本人の希望があれば、伐採をするよう町から国に要望すべきと考える。

町長の考えを伺う。

町長 10年前の除染開始時には、立木や庭石の問題などがあつたが現在は少なくなつている。これからも引き続き町民に寄り添った除染を行うように、環境省に対して申し入れを

続けて行きたいと考えている。

ひろしま
廣嶋
こうじ
公治
議員



太陽光発電設備

問 適正な設置に関する条例制定を

答 独自の条例制定は考えていない



営農型で栽培されているサカキ

廣嶋

営農継続型で1

件の申請があり、農業委員会は審査し許可を出した。しかし申請が継続して出された場合に今後の営農再開に支障がでる可能性がある。

このため、町として

太陽光発電設備の適正な設置に関する条例(営農型)を制定する必要がある。

設置場所の選定、作

付けする作物の推奨、事業終了後の解体費用の積み立ての義務、設置期間等を規定し農地を守る施策をするべきではないか。

町長

営農型太陽光発電のために支柱を設置するには、県による一時転用許可が必要と農

地法で定められている。農林水産省が今年3月に制定したガイドラインを基に転用許可の

日隠山風力発電

問 定期的な調査の実施を

答 現段階で調査は検討できない

判断がされているので現段階で町独自の条例制定は考えていない。

しかし営農に支障をきたしている事例が多

いこの情報もあることから、農業委員会と協力して営農状況を確認し指導していく。

きたしている事例が多

しま百名山に指定されており、山開きには数

多くの登山者が参加していた。町民の憩いの場所でもあり町の観光資源でもある。

策を取るべきではないか。

町長 日隠山は今年度から国により実施される里山再生事業の進捗状況を踏まえ、登山道の再整備を検討している。

また稜線上に風力発電所設置を計画している大熊ウインドファーム(仮称)事業は現在工事認可を得ておらず許可申請前の環境影響評価の実施に向けた手続きを進めている。工事計画の認可をつ

そのため定期的に調査をし、町民や登山者に被害を及ぼさない対

妨げになることも想定される。

回避、消火ヘリコプターの消火活動に支障が生じない配慮を求めたところである。

※その他の質問は、大熊町ホームページにある町議会録画中継をご覧ください。

営農再開に向け ため池早期復旧へ



ため池の復旧を急げ

3月27日、4月26日に復旧を進めているため池等の現地調査を行いました。
主な内容をお知らせします。

ため池放射性物質 対策工事

対象となるため池の震災被害状況と復旧計画営農水利を目的とした放射性物質対策工事について調査しました。

調査の結果、震災での被害状況を確認した状況に応じた工法で復旧作業を進めることを確認しました。

下野上一団地整備

中央産業拠点内にアクセスする大型車について、安全に通行できる状態なのか現地調査しました。

調査の結果、アクセスする交差点の全てにおいて安全に通行できる幅員であることを確認しました。

子ども達が安心して 遊べる広場を



響け子どもの楽しい声

4月19日委員会を開催し、所管事務調査を行いました。
主な内容をお知らせします。

子育て広場

学び舎ゆめの森の北側に整備し、早ければ来年度末の使用開始を目指しています。

子ども達のびのび遊べる広場とし遊具等を設置する。南側は学校の送迎用、北側は再生賃貸住宅用の駐車場を整備するとの説明がありました。

委員からは、子ども達が安全で安心して遊べる広場にしてほしいとの意見がありました。

学校給食

現在、学び舎ゆめの森の給食は浪江町から提供されています。

今後、児童生徒の増加が見込まれるため、令和9年度までに町内での給食提供を目指すとの説明がありました。

委員からは、9年度で間に合うのか。給食の提供を出来るだけ早くすべきとの意見がありました。

個性を伸ばすゆめの森

5月20日全員協議会において学び舎ゆめの森の学校視察を行いました。

視察を終えて

学び舎ゆめの森では夢を見つけて育てることを教育目標に、子ども達との活動に取り組んでいた。

これまでの学校教育に見られた、座学一斉指導のような授業形態ではなく、一人ひとりが得意科目を主体的に学ぶといった形で学習しており、学ぶことそのものが楽しいと感じている子ども達が多く見られた。

例を挙げると、社会科が好きな6年生が自由に学習を進めた結果、現在では中学3年生レベルの問題を解いている児童もいた。

この事例の驚くことは小学6年生が中学3年生の問題を解ける学力がすごいこと(すごい)ではない。個々の好きなことを際限

なく伸ばしているということが、「学び」が好きな子ども達の育成につながっているということである。

視察中、何人かの児童に「学校は楽しい？」と質問したところ「夢のような学校です」「毎日が幸せです」といった肯定

的な答えだった。

視察の冒頭、南郷市兵校長より、開校以来ゆめの森には全国から多くの教育関係者が視察に訪れているとの説明があった。ゆめの森の児童生徒のよゆうな「幸せです」と目を輝かせて学校生活を送る子ども達が日本全国に広がることを夢見た視察となった。



楽しい学びはグングン伸びる

4月18日の全員協議会にて企画調整課より総合運動公園整備について説明がありました。説明要旨と主な質疑について報告いたします。

説明要旨

今回の運動公園整備のスケジュールについては令和5年度に基本構想をつくりました。

今後は最終的な用地を確定させ、令和7年度に基本計画、全体計画を立て、令和8年度に用地の取得。令和9年度に実施設計施工。令和10年度ごろから整備が始められると考えています。

公園内について、大きく3つのゾーンに分けて整備していく予定です。

中央台にあった総合スポーツセンターの機能をすべて入れ込むか、時代の流れを考慮し新たな施設とするか、整備しながら判断していきたいと考えています。

主な質疑

問 国や企業の計画で整備するのではなく、住民や利用者の意向を聞いて基本構想を立てていくようにしたらどうか。

答 利用者の意向は大切にしたい。生涯学習課のスポーツ振興係とも連携を取りながら進めたい。

問 小さな子どもから高齢者まで利用できる全天候型のプールを整備できないか。

答 まず第1次整備でグラウンドの整備はさせていただきました。第2次以降については住民の皆様や議会のご意見をいただきながら検討していく。

新コミュニティ ucchaco! (うっちゃこ!)

下野上地区の大野南と原に再生賃貸住宅が完成し、4月から新たな生活をスタートされた皆さまのための新コミュニティucchaco! (うっちゃこ!)を開催しています。

かつての大熊町のように、近所で助け合い、支え合う地域コミュニティを作るべく、まずは顔を合わせておしゃべりすることから始めよう!という企画です。

コミュニティの名称はうっちゃこ〜(うちにきなよ〜)と気軽に言いあえる関係性づくりのきっかけになればと思っています。

各住宅エリアにあるコミュニティスペースで毎月開催し、これまでに顔合わせやお茶会、コミュニティづくりに向けたワークショップを行いました。「コミュニティが必要か?」「コミュニティにご協力いただけるか?」というアンケートに対して、ほぼ全員が「はい」と回答しました。

帰還して町に戻られた方、移住して町に来られた方、みんなが大熊で穏やかに楽しくつながり合いながら暮らせるよう、これからも企画をしていきます。



これからよろしくね



話が弾んだねえ

大熊町復興支援員 遠藤佳南子

傍聴に来てください 9月定例会は11日からの予定です

編集後記

昨年11月議員の改選があり、議会だよりを編集するメンバーが前期より2人替わりしました。新メンバーでこの70号が3作目になります。遅ればせながら、今号から小欄がようやく復活いたしました。

私たちの委員会の役目は、町民の皆さんに議会の役割や活動を分かりやすく、親しみを持ってもらえる議会だよりの編集。そして皆さんの声に耳を傾ける広聴活動などがあります。

先の4年はコロナ禍で広聴活動がほとんどできない状況でした。そのため新メンバーで最初に編集した議会だよりで、小欄を割愛して「コミュニティに議会も参加します」とお知らせしました。

改めて、皆さんのコミュニティ活動にお伺いし懇談させていただきますので、議員や議会事務局に気軽にお声がけください。
渡辺 誠

広報公聴常任委員会

委員長	渡辺 誠	委員	渡部 友彦
副委員長	島原健二郎	委員	石井 和弘
発行責任者	仲野 剛	委員	武内 正則
		委員	阿部 光國
		委員	廣嶋 公治